

第2回委員会までの意見とその対応

■第2回委員会での主な意見と対応

意見のカテゴリ	内容	対応
課題整理について	<ul style="list-style-type: none"> 市全体と地域ごと、それぞれの特性と課題を示した方がより分かりやすいのではないか。（石原委員） 地域別の課題は共通の事を見出すためのものか、地域ごとに捉えておいた方が良いのかは、一度、市全体としての共通項を整理していただいて議論できればと思う。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別の特性と課題を、地域ごとに捉えておいた方が良い事を軸に再整理 【第3回、資料5 p. 3～6 ■地域別みどりの特徴・課題・取組の方向性案】
	<ul style="list-style-type: none"> 山が管理されていないから土砂災害が起きることは、中流・下流域にも繋がる。災害のことを課題として示した方が良いのではないか。（石原委員） 特に北部地域は、山地、丘陵、河川、水路、里地里山、農地、ため池といった多様な緑について、土砂災害をはじめとした災害発生時に果たす役割について確認しておく必要がある。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> パブコメ素案の本文にて記述 【第4回、パブコメ素案にて提示】
	<ul style="list-style-type: none"> 「適切な農地や森林の維持管理が困難になる事態が予測される」とあるが、既にそういう事態になっていると書かないといけない。（都解委員） 	<ul style="list-style-type: none"> パブコメ素案の本文にて記述 【第4回、パブコメ素案において提示予定】
	<ul style="list-style-type: none"> 保存樹林やまち中の農地などの残された空間は良いところでもあるため、維持していくことも課題かと思う。（都解委員） 	<ul style="list-style-type: none"> パブコメ素案の本文にて記述 【第4回、パブコメ素案にて提示】
	<ul style="list-style-type: none"> 写真が公園に特化しているので、農地や樹林もあればと思う。（都解委員） 屋敷の緑やまちなかの緑、神社の緑を追加いただければと思う。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別の特徴・課題の整理において、公園以外の写真を追加 【第3回、資料5 ■地域別みどりの特徴・課題・取組の方向性案】 【第4回、パブコメ素案にて提示】
公園へのニーズについて	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の時代のため、ヨーロッパの公園のような、遊具が無く、広く、樹木が多い、大人も憩えるような場所が求められていると思う。（高原委員） 散歩される健脚な方を受け止める公園と、買い物途中で少し立ち止まって休める場所として小さな公園が必要な場合もある。（加我委員長） 遊具を置くだけでなく、ちょっと休憩できるような活用ができれば良いと思う。（浅井委員） みどりの活用や共創によるみどりのまちづくり、子ども、大人、高齢者の健康を受け止める公園という観点が必要である。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> パブコメ素案の市民ニーズに関する記述に反映 【第4回、パブコメ素案にて提示】
緑の将来像について	<ul style="list-style-type: none"> 緑の将来像にある「まちの緑の核」などの「〇〇の緑の核」の核とは何を意味しているのか、具体性を持って説明された方が良い。（石原委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 具体施策、重点施策を検討するなかで精査する 【第4回、パブコメ素案にて提示】

意見のカテゴリ	内容	対応
みどりを取り巻く状況の変化	<ul style="list-style-type: none"> ● 最近、国も緑の基本方針を出し、気候変動、防災、健康、生物多様性、賑わいということが記載されていたかと思う。特に気候変動、生物多様性、ウェルビーイングということで、その中で防災対策を含めて充実させていただければと思う。みどりを取り巻く状況の変化にも追記いただきたい。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● パブコメ素案の本文にて記述 【第4回、パブコメ素案にて提示】
基本方針について	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本計画改定の視点で、「環境基盤（グリーンインフラ）としての機能を整える」と記載されているが、それについては基本方針の中のどこで謳われるのかが見えてこない。防災性能や基本的な方針がどのように関連するのかを示していただきたい。（石原委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針3「みどりの保全・創出」本文の“質の高い緑”に含む ● 環境基盤に関する具体的な取組みは、具体施策で示す 【第3回、資料5 ■改定計画の構成、資料6具体施策（案）】
具体施策について	<ul style="list-style-type: none"> ● 生き物のことは遠慮がちになっていたが、「みどりとみどりを繋ぐ」というホットスポットの観点については充実させていただきたい。（加我委員長） ● 生物多様性をということであれば、多様性を豊かにするような維持管理についても考えてほしい。（高原委員） ● 大きくなりすぎて危険木になっていることも含めて、どのように計画に記載するかを検討していければと思う。（加我委員長） ● “ひと”と“ひと”というところで、茨木市で事業をされている方は茨木市で何かしたい、子どもたちのためにこれをやっていきたいという意識を持った事業者が多いと思う。市民だけではなく、企業も巻き込めるようなことを文書化や形にできればと思う。（浅井委員） ● 公園と同じように共創だけではなくて事業としてやらないといけないことがあると思うので、基本的な方針に森林も当てはまるかと思う。そのうえで、施策にも森林のことを組み込んでいただきたい。（都解委員） ● こういう遊びをしても良いよ、許可がなくてもこんな遊びが緑ではできるというイメージがあれば、みどりの使い方として面白いものが出てくるのではないかと思う。（井下委員） ● 地域の置かれている課題に対して、他の分野の方とも議論しながら緑の基本計画に盛り込んでいければと思う。（加我委員長） ● みどりと人が繋がることを考えた時に、誰もが公園を使えるインクルーシブな、そしてユニバーサルな公園みたいなところにもう少し踏み込んで提案されたら良いのではないか。（石原委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関連課にヒアリングを行い、生物多様性や森林保全、樹木、事業者との共創に関連する取組みを計画に反映する 【第3回、資料6具体施策（案）】 【第4回、パブコメ素案にて提示】 ● 具体施策の中で活用イメージを示す 【第4回、パブコメ素案にて提示】 ● 庁内ヒアリングを実施し ● パークマネジメントプランの中で検討する

■第1回委員会での主な意見と対応

意見のカテゴリ	内容	対応
アンケート結果について	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑が増えているかの回答に地域差があるとの結果であるが、これは回答者の実感としての増減か、実際に増減しているのか。また、不満が多いという結果については、具体的に何に対する不満であるのか。（福田副委員長） ● みどりに関して苦情が多いのが現状である。この不満の要因分析をしていかないといけないと思う。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由記述の結果などから不満の要因分析を行う。【第3回、具体施策・評価指標の検討において提示予定】
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「公園の利用頻度が高いほどみどりに対する満足度が高い」について、みどりに満足するかから使うのか、使うからみどりに満足するのか、それによって何をするのが変わってくると思う。（井下委員） ● どちらからも説明があるというのが重要かと思う。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園自体の魅力向上と、利用頻度を上げる取組の両輪での取組の反映について検討する。【第3回、具体施策・評価指標の検討において提示予定】
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民アンケート結果について、家族構成はどうなっているか。公園の利用はライフステージによって変わってくる。緑を感じるというところで、例えば南部の方が北部へ移動して緑を感じるということもあるのではないか。（浅井委員） ● 地域で育てていくべきみどりと、他地域から呼び込むみどり、それは市全体のみどりになるかもしれないが、両輪が考えられるかと思う。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢層別や地域別の分析結果も踏まえて、住む人、訪れる人それぞれの視点から緑への満足度を高める取組について検討する。【第3回、具体施策・評価指標の検討において提示予定】
現状と課題の整理について	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状を把握して次に繋げていく話が必要であるが、課題が明確でないと次に繋げにくい。課題の整理をしていただけると良いかと思う。（都解委員） ● 次回は量的ではなく、質的な課題についても示していただければと思う。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2回において、地域別の特性と課題について整理した結果を示す。【第2回において提示】
上位関連計画について	<ul style="list-style-type: none"> ● 上位関連計画として農林関係のことも重要であるため、そのあたりについても情報提供いただければと思う。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施策検討にあたり農林課へのヒアリングを実施し、充実を図る。【第3回、具体施策の検討において提示予定】
公園の利用ルールについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもにとっては、ボール遊びができる公園が増えれば良いと思う願望がある。お年寄りにとっては、座るところがなく、歩いて行ける範囲で休憩できる場所があると良いと仰っていた。（古川委員） ● 公園ごとに考えていくというのが必要になってきているのだと思う。どれくらいの規模のところで、どのように対応していくのが大事になると思う。（加我委員長） ● 地元の人や利用者でルールを作って運営していくこともできないか。（福田副委員長） ● 公園のルールを自治会で作るということを協議会に提案で出してみようと思う。（古川委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年代ごとのニーズや地域特性を踏まえた既存公園のマネジメントに関する検討を進める予定であり、基本計画にもその考え方を示す予定。【第3回、具体施策、推進方策の検討において提示予定】

意見のカテゴリ	内容	対応
	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園のリニューアルの時期を迎えていると思うが、施設のライフサイクルを見越してやっているのか。廃棄まで考えておかないと、結局次の世代が苦勞する。そこをイメージしてやってこられたのかについて、次を考える上では大事であると思う。（福田副委員長） ● 公園は遊具絶対必要なのか。（福田副委員長） ● 近年、漸く公園整備数の傾きが緩やかになり、工夫できるようになってきた。再整備に際して、遊具設置の有無や種類に関する選択肢の可能性が非常に高まった。（加我委員長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 整備後相当年数が経つ公園が多数存在する状況であり、それらのリニューアルにあたっては特色ある公園づくりや役割分担などの既存公園のマネジメントについて検討予定であり、基本計画にもその考え方を示す予定。 【第3回、具体施策の検討において提示予定】